

戸隠地質化石博物館 (長野市)



シナノホタテ(絶滅種)の化石。
戸隠産です。



日本列島を東西に分ける「糸魚川-静岡構造線」は、新潟県糸魚川市から長野県内の白馬、松本、諏訪から、甲府盆地を通り、静岡県静岡市まで続く地質境界線です。この線より東側は、約2000万年前におちこみ、太平洋と日本海をつなぐ海となった部分です。この海であった部分は「フォッサ・マグナ」と呼ばれます。

その「フォッサ・マグナ」の中央に位置する戸隠連峰も海の底だった場所で、ホタテガイをはじめとする、約500万年前の海にすむ生物が化石としてみつかっています。戸隠周辺では貝類の他、クジラやホホジロザメ、カイギュウ、さらには約300万年前の日本最大級のゾウ(シンシュウゾウ下顎化石:長野県天然記念物)の化石などが発掘されてきました。戸隠地質化石博物館は、これらの化石から戸隠山の生立ちを紹介しています。ここは古い小学校を利用していることもあり、学校教材や木製の戸棚、卒業記念の制作物なども残されていて、懐かしい雰囲気のあるユニークな博物館となっています。

山国信州がかつて海だったこと、その後の隆起で戸隠山ができて、一時期は海岸平野になった時代もあったのです。その後飯縄山が噴火し、長野盆地も活断層の動きでできました。…長野の景観や独自の文化は、その地質が影響していることなど、初めて気づくことが多い展示内容です。日本最初の石油会社が長野市にできた理由、信州の中央部に湯量の多い有名な温泉がある理由も、大地の生立ちと深く関わっていると理解できます。



様々な動物の骨を収蔵している「ホネ部屋」。骨の標本を間近に見ることのできる、(多分)世界でも稀な展示形態です。

化石や大地の生立ちなど長野の過去から、日本が災害の多い国であることや、エネルギーや食料問題など人類が直面している未来を考えることができます。ぜひ、博物館職員の方の解説を聞きながら見学することをおすすめします。(8時間コース以外は、当日の申し込みでOK)

自然観察会・植物観察会など周囲の自然を生かしたイベントも多数開催しています。化石クリーニングや水晶拾い、草木染の会などの体験プログラムをお出かけ前にチェックしておくのもよいでしょう。

展示解説について

- ウサギコース (30分)
- イノシシコース (50分)
- カメコース (120分)
- カタツムリコース (8時間) ※要予約



ご利用案内

入館料 一般 200円 (160円)、
高校生 100円 (80円)、小中学生 50円 (40円)
※()内は20名以上の団体料金
※毎週土曜日と、子どもの日は子どもウェルカムデーで、
小中学生は無料となります。

開館時間 9:00 ~ 16:30 (入館は16:00まで)

休館日 月曜日(祝祭日と重なる場合はその翌日、祝祭日は開館)。
祝祭日の翌日。年末年始。

館内設備 ●障がい者用駐車場 (1台) ●多目的トイレ ●車椅子2台
●エレベーター ●おむつ替え用台 ●スロープ設置

MAP&アクセス

車で JR長野駅から約40分。
上信越自動車道長野ICから約50分



お問い合わせ

長野市立博物館分館 戸隠地質化石博物館
長野市戸隠原3400番地 TEL 026-252-2228
<http://www.tgk.janis.or.jp/~togakushi-museum/index.html>